

■設備計画

環境負荷低減に積極的に取り組み、CO<sup>2</sup>排出量と一次エネルギー消費量の削減を図るため、設備システムの高効率化等により省エネルギーを実現し、太陽光や温泉熱などの自然エネルギーを積極的に利用します。

■延床面積

階数	庁舎ゾーン	にぎわいゾーン	計
1階	1,174㎡	1,017㎡	2,191㎡
2階	767㎡		767㎡
地下1階	1,022㎡		1,022㎡
合計	2,963㎡	1,017㎡	3,980㎡

■概算工事費

建築主体	1,550,000千円
電気設備	307,000千円
機械設備	342,000千円
合計	2,199,000千円



国道から見た外観イメージ



来庁者駐車場から見た外観イメージ

お問い合わせ先

新庁舎整備推進室

☎ (62) 4470

連載  
Vol.14

# 防災拠点型 複合庁舎建設に向けて



令和2年4月から進めてきました防災拠点型複合庁舎建設基本設計が、令和3年1月に完成しました。

基本設計では、新庁舎や駐車場の位置を明確にした配置計画、建物内の諸室や各機能を配置した平面計画、冷暖房などの設備計画、概算工事費などをまとめました。

新庁舎は、役場庁舎を建て替えるだけでなく、町民の皆さんが会議や集会に利用できる活動室やサークル室、健診を行う保健センター機能、そして、あらゆる世代が集い、新たなコミュニティが生まれるにぎわいゾーンを兼ね備えた、町の拠点となる複合施設をめざしています。

基本設計の概要

■配置計画

町ににぎわいをもたらす新たな拠点とするため、中心市街地の入口でもある既存中央公民館を含んだ敷地に新庁舎を建設します。

災害時には、災害対策本部や一時避難場所としての機能を安全に維持するため、想定し得る最大規模の大雨が降っても浸水しない区域を選びました。

中央公民館：解体工事のため令和3年4月1日より使用できません。  
小清水市街第1裏通り（庁舎東側の町道）：令和3年中に廃止する予定です。

